

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

【リスボン国際大会 寄付者晩餐会】

リスボン国際大会にて、「大口寄付者晩餐会」「遺贈友の会晩餐会」「アーチC.クランフ・ソサエティ晩餐会」が開催されます。大口寄付者(メジャードナー)とは、ロータリー財団への寄付累計額が10,000ドルに達した寄付者を指し、「遺贈友の会」とは、遺産の一部(10,000ドル又はそれ以上)の受取人としてロータリー財団を指定される寄付者の会です。また、アーチC.クランフ・ソサエティとは、ロータリー財団への寄付累計額が250,000ドルに達した寄付者の会です。

それぞれの対象者にはリスボン国際大会での晩餐会の招待状が送られています。是非ご参加いただきお楽しみ下さい。お申し込みは5月10日までに

www.regonline.com/trfevents2013 又は日本事務局財団室を通じてお手続き下さい。

ロータリー財団の補助金制度 (未来の夢)

【最新情報】

地区補助金とグローバル補助金の「授与と受諾の条件(2013年7月～)」が2013年1月付で更新されています。

主な変更点は以下の2点です。

IV.申請方法

両代表提唱者(地区またはクラブ)のみが資格認定を受ける必要があることが明記されました。

V.旅行方針

補助金受領者の旅行は国際ロータリートラベルサービス(RITS)を通じて手配します。対象となるのは、グローバル補助金や地区補助金の奨学生や職業研修チーム、パッケージ・グラントで旅行するVTTチームなどの海外渡航費に補助金を使う場合です。RITSの連絡先は、<ロータリーの補助金>ページに掲載される予定です。

今まではロータリーの条件を満たす保険に旅行者本人が加入し、経費に補助金を利用できることになっていましたが、今後は、旅行のために補助金を受領するすべての人には、国際ロータリー指定の保険が自動的に適用されます。受領者の希望や留学教育機関、職業研修の実施地等が追加の保険加入を義務づけている場合、その追加の保険への加入は旅行者本人の責任となり、補助金の対象外となります。

新しい補助金制度における奨学金資料が更新されて

います。保険については、更新されていない資料もありますので、上記旅行方針をご確認下さい。

【2013年リスボン国際大会でのワークショップ】

6月23日～26日まで、ポルトガルのリスボンで開催されるRI国際大会では、次のようなロータリー補助金に関する分科会(ワークショップ)も開かれます。

- ・職業研修チーム(VTT)
- ・グローバル補助金申請書記入方法101
- ・グローバル補助金申請書記入方法102
- ・ロータリー奨学金の機会
- ・変化のためのパートナー:ロータリーの戦略パートナー
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・疾病予防と治療
- ・平和と紛争予防/解決
- ・識字率向上と基本的教育
- ・経済と地域社会の発展

【ポリオ症例数】

2013年3月27日現在のポリオ症例数です。

	2013年 1月1日～3月27日	2012年
アフガニスタン	1	37
パキスタン	5	58
ナイジェリア	10	122
インド	-	-
ポリオ常在国以外	0	6
世界合計	16	223

現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。昨年の同時期のポリオ発生件数は40例でした。

【ファースト・クラス・イニシアチブ】

ロン・バートンRI会長エレクトの呼びかけで、全世界の地区ガバナー・エレクト全員が国際協議会までに寄付し、ロータリー史上初めての功績を残しました。この成功例を各地区レベルにも広げようと、今度は地区ガバナー・エレクトが地区内クラブ会長エレクト全員にリスボン国際大会までに寄付に参加するよう呼びかけています。地区内クラブ会長エレクト全員がロータリー財団に寄付をした際には、“ファースト・クラス・バッジ”が贈られます。